



1 拜殿の屋根瓦 西山上七(明石市)の作で、寺の貴重な宝として大切にされています。

2 石垣 井上芳平(玉野市)の手によります。

3 八大龍王 雨を司る神で、春には八大龍王祭を行います。



4 ゆるぎ岩 指で大岩が動くとされています。



5 太閤腰掛岩 高松城攻めで、本陣が龍王山の時、秀吉が腰掛けたとされています。



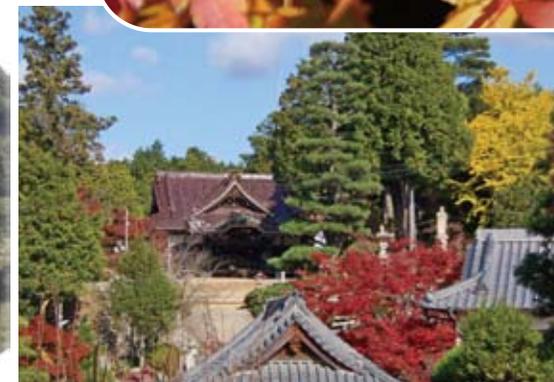
龍王池を囲む広大な龍泉寺は、岡山県立自然公園に指定され、四季を通じて里山の自然を楽しめます。

御瀧祭り

夏の大会、御瀧祭りは、白装束の男たちに担がれた2つの神輿が龍王の滝に打たれる場面がクライマックスです。多くの参拝者でにぎわいます。滝修行は、一般の方でも体験することができます。

祭事

新年開運祭	1月1～15日
初午祭	2月初午日
八大龍王祭	4月第3日曜日
御瀧祭り	7月第4日曜日
身代り地藏尊祭	10月第3日曜日
御火焚大祭	12月第2土、日曜日



最上本山 御瀧 龍泉寺

奈良時代天平勝宝年間に、この地で山岳修行していた報恩大師が創建したと伝えられています。雨乞いの神である龍神様、八大龍王と、豊作の神であるお稻荷様が一体となった民間信仰の霊場でした。

現在の龍泉寺は、幕末期に、日護聖人により再興大成されました。昭和26年に日蓮宗最上教派の本山になり、滝に打たれる荒行の場として有名です。



もみじ坂の春と秋

ホームページ



〒701-1464
岡山市北区下足守 900
TEL : 086-295-0130
FAX : 086-295-0182



トキソウ



ノハナショウブ



サギソウ

龍王池周辺に湿地があります。涸れることのない湧水が湿地をうるおし、希少生物を育てています。



八大龍王大宝塔 龍王池の南側に位置し、4月第3日曜日に、この前で、八大龍王祭の祭事が行われます。



身代り地蔵のお社 備前一宮から足守藩へ通じる古道があり、追いはぎが出没しました。地元の人々が身代りに地蔵をお祀りしたのが始まりです。



永代供養塔・永代墓 豊かな自然に抱かれた永代墓はおすすめです。宗旨宗派は問いません。墓石に銘文を刻印し、永代にご供養いたします。個々のお墓なので、合葬には致しません。



優羅姫 (ゆらひめ) ©

龍王池伝説

平安時代に転記された鬼城縁起によれば・・・
吉備津彦命の軍奉行であった楽々森舎人(ささもりとねり)は、超能力を持っていて、芦守山の山頂の岩をうがって、水を湧き出させ、地域の人々をうるおしました。湧き出た水は、山の中腹の池となりました。
その後、優鉢羅龍神(うはつらりゅうじん)が芦守山に飛来し、地域の人々を護ったので、いつしか芦守山を龍王山、池は龍王池と呼ぶようになりました。
楽々森舎人は足守の豪族で桃太郎伝説の猿のモデルとされています。

優鉢羅龍神は青い蓮の花が咲く池に住むといわれ、八大龍王の変化(へんげ)の一つです。龍泉寺では、龍王池を八大龍王様の御神体としてお祭りしています。あがめられるお姿を思い浮かべ優鉢羅龍神を具象化しました。愛称は優羅姫(ゆらひめ)です。

八大龍王は生命の源泉である「水をつかさどる神様」です。岡山県立自然公園に指定された豊かな里山の自然は、「水」の賜物です。

龍泉寺は最上位経王大菩薩(お稲荷さん)、八大龍王(水の神様)、鬼子母神(子供の守り神)、三面大黒天、身代り地蔵尊をお祭りしています。